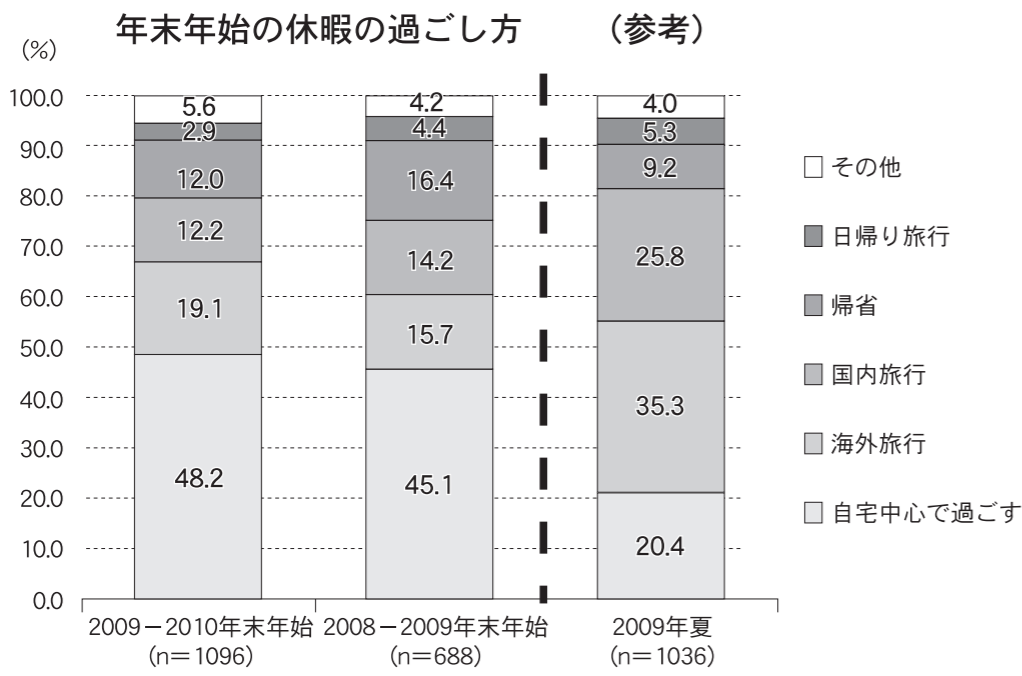


# 年末年始の過ごし方も巣籠もり傾向



## 全体傾向

年末年始の休暇の過ごし方は、「自宅中心」で過ごした人が最も多く48.2%。宿泊を伴う旅行に出掛けた人(海外旅行、国内旅行、帰省)は43.3%と、昨年同時期の調査に比べて3.1%減少(昨年:46.4%)した。昨年同時期の調査でも「自宅中心で過ごす」と回答した人は45.1%と多く、年末年始は「自宅中心で過ごす」巣籠もり傾向が、季節的な要因としてあることが分かった。

昨年と比較すると「海外旅行」は15.7%→19.1%と3.4%増加している。一方、「国内旅行」は2.0%減少(14.2%→12.2%)、「帰省」は順位も落とし、4.4%減少(16.4%→12.0%)となった。

年代別で見ると、20代~40代は半数近くが宿泊を伴う旅行を実施し、50代以上は「自宅中心で過

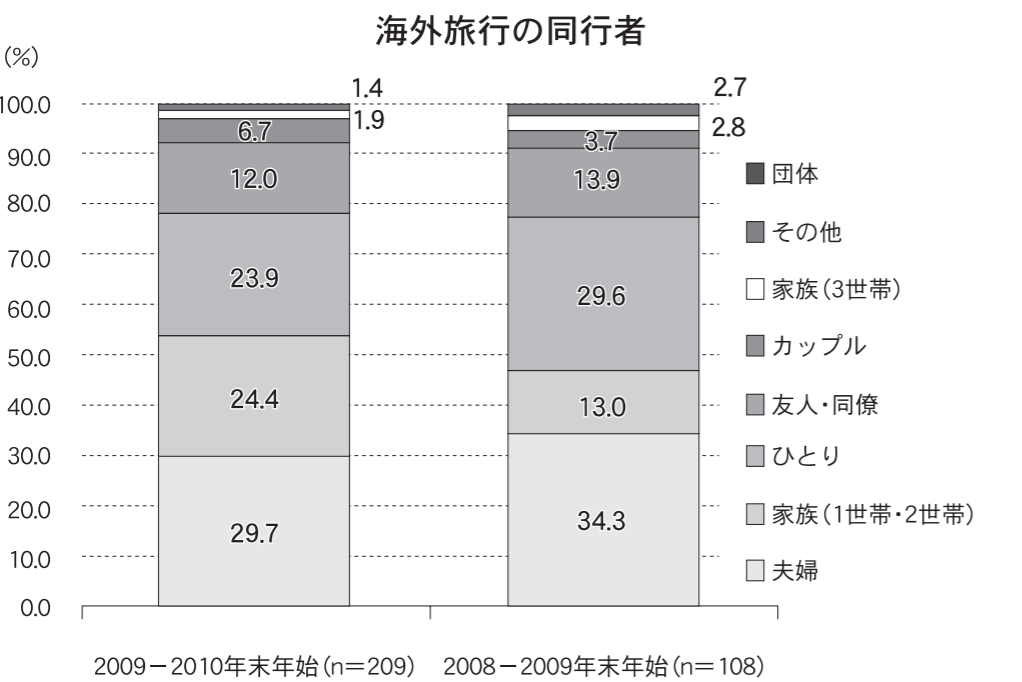
す」傾向が強い。

昨年の海外旅行は、燃油サーチャージ高騰の影響から、旅行控えが目立ったが、今年は燃油サーチャージの値下げに加え、円高などの影響から、旅行に行きやすい条件がそろい、海外旅行者が増えたと推測できる。

帰省や国内旅行控えが目立った理由として、09年は秋に大型連休があり、その休みを利用して出掛けた人が多かったことも影響していると考えられる。また、長期休暇が取り難い曜日の配列と、不況による節約志向もあり、自宅でゆっくり過ごす人が多いようだ。その他にも、高速道路休日上限1000円のETC割引サービスが12月25、26日は適用外であったことから、国内移動(国内旅行、帰省)を控えた人もいと考えられる。

## フォトトラベルが調査

旅行のクチコミサイト「フォトトラベル」は、先の年末年始の旅行実態を把握する調査を実施、その調査結果を5日発表した。宿泊を伴う旅行をした人が減って、この年末年始の過ごし方も「巣籠もり傾向が浮き彫りになった」と同社。調査期間は09年12月23日~10年1月4日の13日間。調査は、旅行好きのフォトトラベル利用者(回答サンプル数1096人)を対象としているため、社会全体の動向とは必ずしも一致しないが、旅行トレンドの先行指標として参考になるだろう。調査結果を抜粋して紹介する。

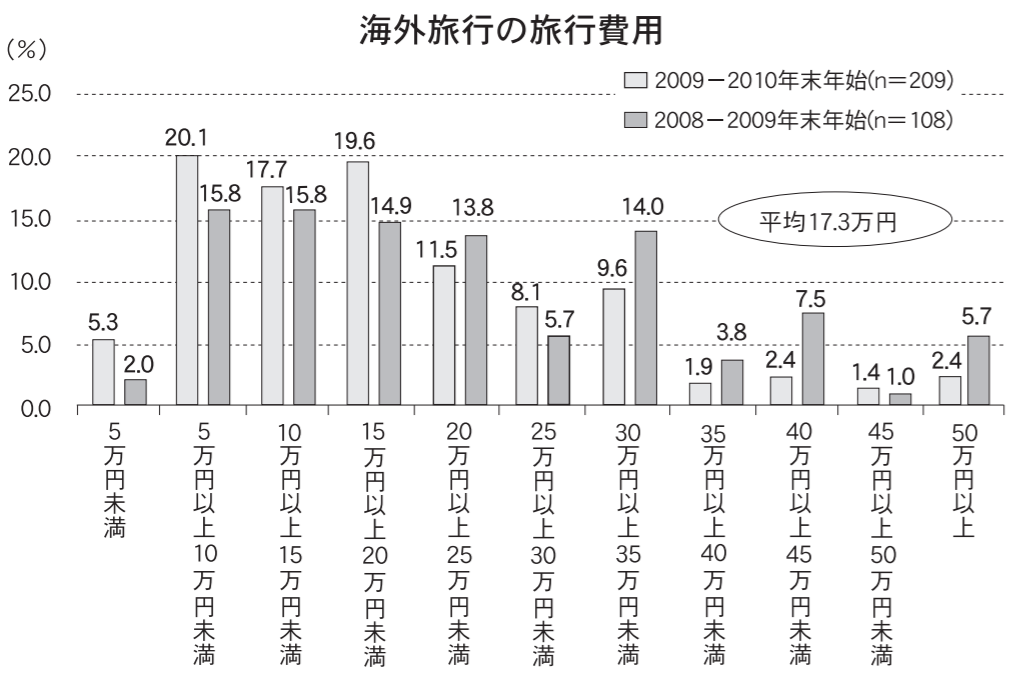
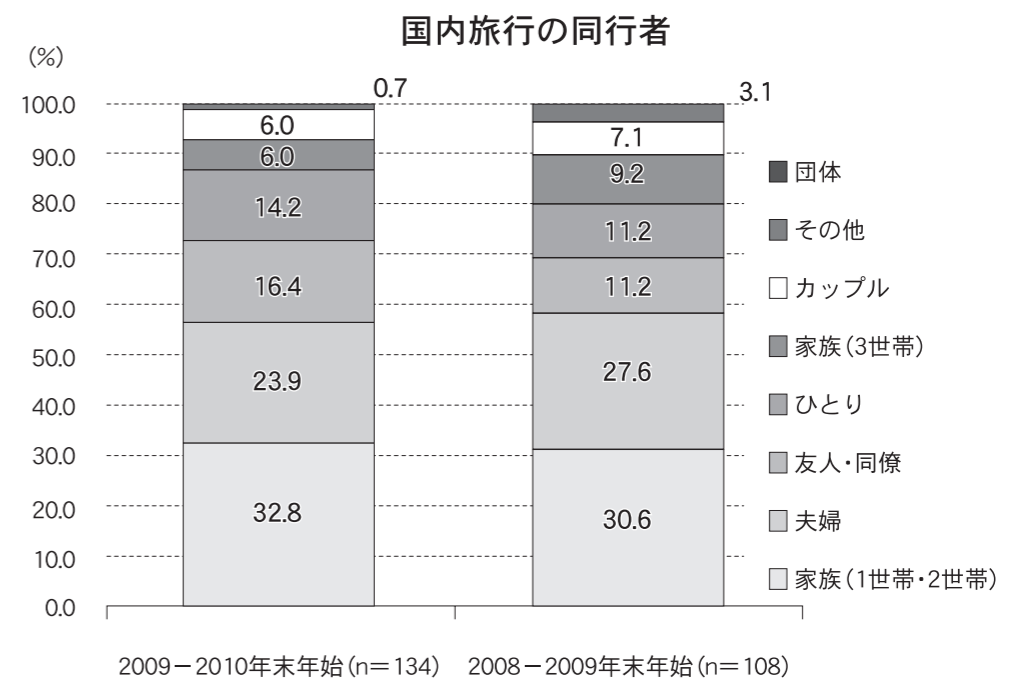


## 旅の同行者

海外旅行の同行者は「夫婦」が最も多く29.7%、続いて「家族」(1世帯もしくは2世帯)で24.4%、「ひとり」(23.9%)となった。昨年同時期の調査と比較すると、「夫婦」は4.6%減少、「ひとり」は5.7%減少した。一方「家族」は、10.9%増と大幅に増加している。

国内旅行では「家族」が最も多く32.8%、続いて「夫婦」で23.9%、「友人・同僚」(16.4%)となった。昨年同時期の調査と比較すると、海外旅行同様「家族」が2.2%増加。また、「友人・同僚」も5.2%増加している。

海外旅行は、燃油サーチャージ値下げに加え、円高など、旅行に行きやすい条件がそろったことで、日程に制限があり価格にシビアな「家族」が積極的に海外へ出かけたとと思われる。

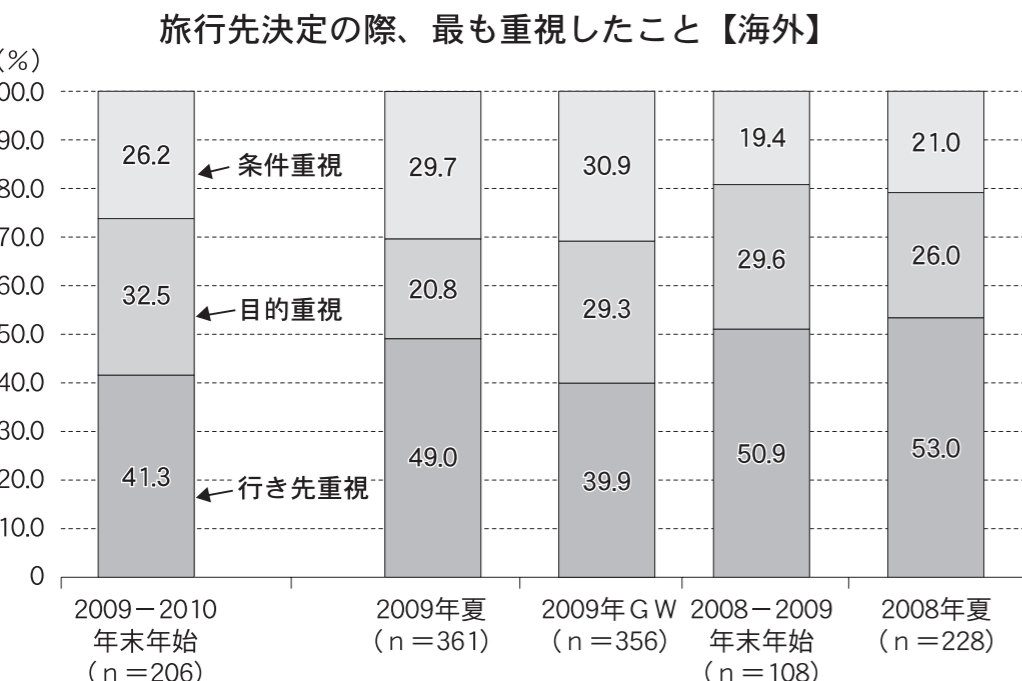
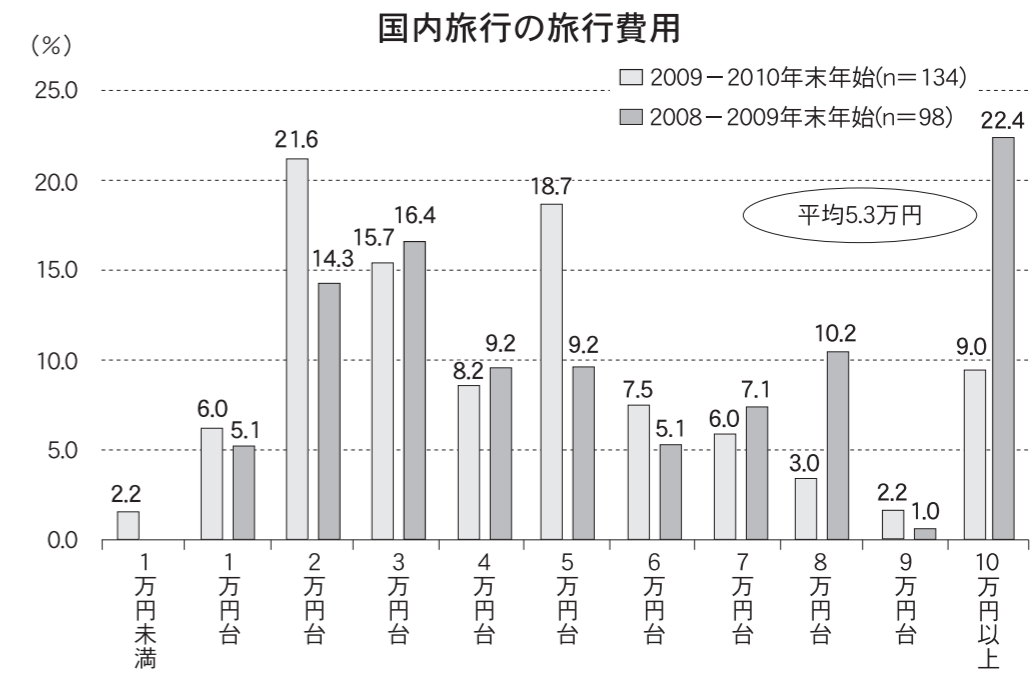


## 旅行費用

年末年始の休暇にかかった1人当たりの平均旅行費用は、海外旅行が17.3万円で、昨年と比較し4.1万円減少。国内旅行は、5.3万円で、昨年と比較し1.4万円減少した。

海外旅行は「5万円以上10万円未満」が最も多く20.1%、ついで「15万円以上20万円未満」が19.6%。国内旅行は「2万円台」が21.6%とトップで、「5万円台」(18.7%)、「3万円台」(15.7%)と続く。昨年調査では、10万円以上が22.4%と多かったが、今年は9.0%と少ない。

国内旅行の平均費用が下がった理由として、高予算の人の減少が影響として考えられる。また不景気の影響か、宿泊数を減らし近場にシフトする動きがあり、その点も全体の予算が下がった要因として考えられる。

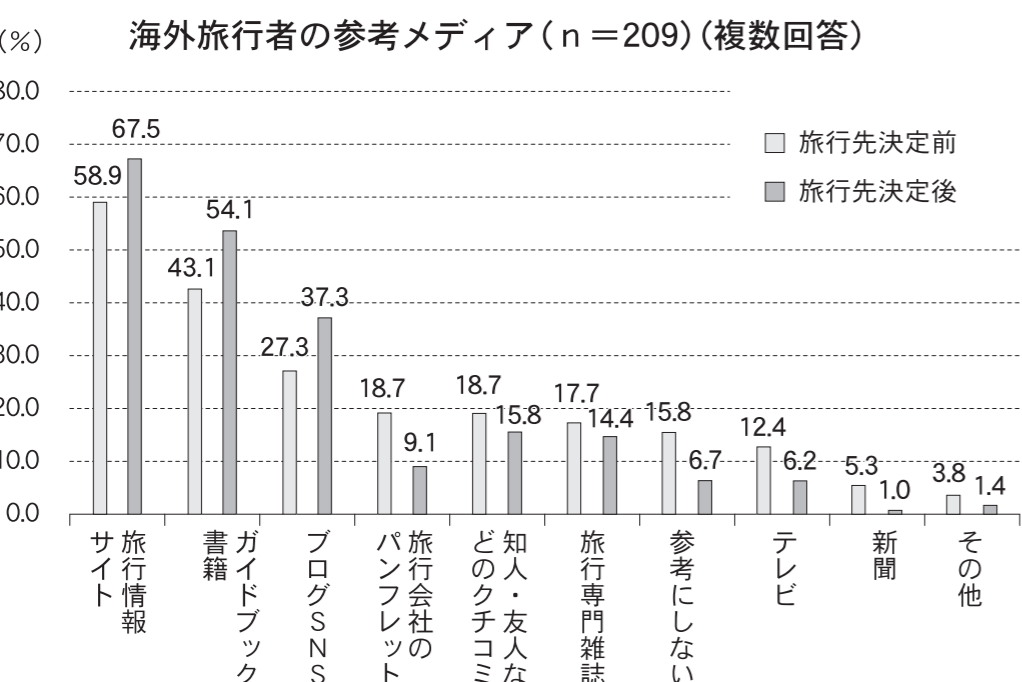
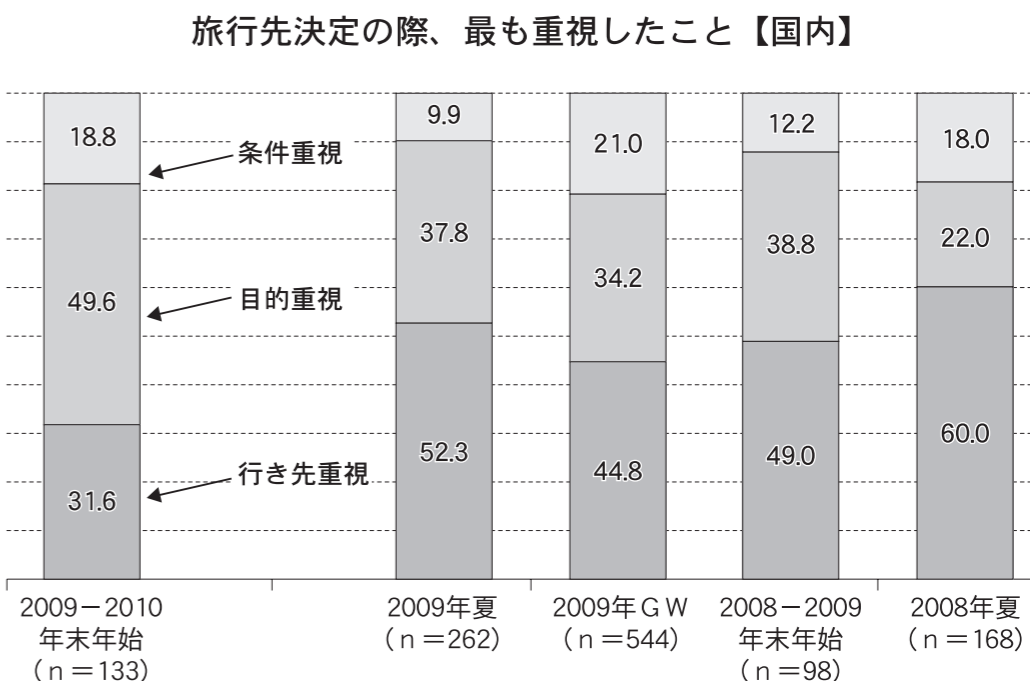


## 計画の重視ポイント

海外旅行の計画時に重視するポイントは「行き先重視」が41.3%と最も多く、続いて「目的重視」(32.5%)、「条件重視」(26.2%)となった。昨年の同時期の調査と比べると、「行き先重視」が減少し、「目的重視」「条件重視」が増えている。

国内旅行の計画時に重視するポイントは「目的重視」が49.6%と最も多く、続いて「行き先重視」(31.6%)、「条件重視」(18.8%)となった。

昨年の同時期の調査と比べると「行き先重視」が17.4%減少し、「目的重視」が10.8%増加。国内旅行で重視するポイントで「目的重視」が初めてトップになった。夏の旅行は「行き先重視」の傾向が強いものに対して、年末年始は「同行者との親睦」「温泉でゆったり過ごす」など「目的重視」が元々高い傾向にある。



## 旅の情報収集

海外旅行について、旅行先決定までに参考にするメディアは「旅行情報サイト」(58.9%)、「ガイドブック・書籍」(43.1%)、「ブログ・SNS」(27.3%)という順。旅行先決定後も参考にするメディアの顔ぶれは変わらない。ただし情報の収集意欲は、旅行先決定後の方が高くなった。

国内旅行では、旅行先決定までに参考にするメディアとして「旅行情報サイト」(49.3%)、「知人・友人などのクチコミ」(27.6%)、「ブログ・SNS」(26.9%)という順になった。旅行先決定後は、旅行先決定前に参考にしていたメディアの利用率は下がり、代わりに「ガイドブック・書籍」の利用者が大幅に増えた(18.7%→32.8%)。旅行先の決定前後、また海外旅行と国内旅行では、旅の情報収集のプロセスに違いがみられた。

